

詳細調査「医学的検査担当者研修」が当センターで開催されました

メディカルサポートセンター（石塚・小西・佐々木）

エコチル調査では、来年度から一部の参加者（5,000人）を対象とした詳細調査（医学的検査・精神神経発達検査）が始まります。そこで、2015年1月の第1回目の開催に引き続き、2015年3月16日に国立成育医療研究センター講堂にて第2回目の「医学的検査担当者研修」が開催されました。主催は、国立環境研究所（コアセンター）で、私共メディカルサポートセンター（以下、MSC）は講演や実習講師ならびに設営などを担当しました。

本研修は、詳細調査で実施する予定の医学的検査（主に身体計測・血圧測定・皮膚観察・採血検査など）に携わるスタッフを対象に行われました。2歳児のお子さんを対象にするという前提で、MSCのスタッフから「調査を目的とした検査を行う場合の心構え」「保護者やお子さんへの配慮」「調査データの精度を保つ上での測定や介助のポイント」などを講義・実習形式で説明しました。また、桃山学院大学法学部 永水裕子先生に未成年者の医学研究への参加について、倫理上の要点をご講演頂きました。

調査開始目前ということもあり、どの実施施設も現在の準備状況をふまえながら、意欲的に研修に参加し、講義・実習から多くの事を吸収しようという姿勢が感じられました。研修の最後には、施設ごとに分かれ、グループワークを行いました。それぞれの施設の強みや問題点をスタッフ間で共有し、医学的検査の実施に向けて具体的な実行プランを作成して頂きました。

エコチル調査を成功させるには、関係者は勿論のこと、参加者の方々、提携医療機関の方々などが一丸となってこの国家プロジェクトを支えていくことが必要です。今回の研修を通して「スタッフが調査の主旨を理解し適切な判断・対応をすること」「調査参加者がまた次も参加したいと思って頂けるような工夫・配慮をすること」を実施施設のスタッフに再認識して頂けたと思います。

実習とグループワークの様子：第2回目は60名ほどの方が参加されました





上段左（二村先生：皮膚観察講義）上段右（目澤先生：身長測定実習）中段左（石塚：頭囲測定実習）

中段右（山本先生と成育 CLS^(※)小林さん：採血介助・声掛け）

下段左（講義・実習を終えた後の質疑応答）下段右（小西：実行プラン作成に取り組む UC スタッフのみなさん）

(※)CLS=チャイルド・ライフ・スペシャリストの略称です

チャイルド・ライフ・スペシャリストは、医療チームの一員として、こどもの入院生活がよりストレスの少ない、できるだけ安心して乗り越えられるような体験になるよう心理社会的支援をする専門職です。エコチル調査採血検査においてもお子さんのストレスを最小限にするために多方面からサポートをする役割を担う「こどものケア担当」を配置します。マニュアルの作成や研修会などで当センターのCLSにも協力して頂きました。

<http://www.ncchd.go.jp/hospital/support/childlife.html>